平成30年度 学校だより5月号

30年度目標 "かくれたチカラを引きだそう"

「あきらめない!」 少しを、次々と、時間内に 「できるを重ねる



平成30年5月9日 北九州市立木屋瀬小学校 校長 渕 上 正 彦

児童が全員集合、歓迎集会!

新 1 年生の入学を祝い、初めて体育館に児童全員が集まり集会活動 が行なわれました。集会は運営集会委員会野児童が、朝や昼の休み時間

を使って毎日準備をしてくれました。



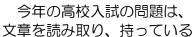
ひな壇に座った 1 年生は、一人一人名前を 呼ばれて、元気に「ハイッ!」と返事をして立 ち上がり礼をしていました。また、プレゼン

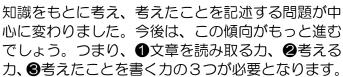
トに「友達になるために」を歌ってくれました。ステキな歌詞で感動しました。木屋 瀬小の大事な一人としてこれからの成長を期待しています。



◎ 子ども読書の日

4月23日は全クラスで、 読書に親しむ活動が行われま した。読書ボランティアの皆 様が各クラスを周り、読み聞か せをしてくれました。ありがと うございました。





3つの力は、物語文や説明文など、読書を通じて 長文を進んで読む習慣を付けることで養われます。

家庭でのテレビやゲームの時間を、いかに読書の 時間に切り替えていくか、家庭での工夫が必要です。 一番良いのは、家族で皆が一緒に本を読むことです。 週に一度でよいので「家族の読書タイム」を作って みませんか?

ました。



さて、子ども読書の日、 本校の6年生は、数人のグ ループで1年生の教室を訪 れ、読み聞かせをしてくれ



木屋瀬小の6年生の思い やりの姿には、いつも感動 します。相手の気持ちや状 況を見て、考え、振る舞う 姿は本当に素晴らしいです。 朝の登校では、1年生の手



を引いて連れてきてくれます。 大人を見ると「ほら挨拶をす るのよ」と教えてくれます。

雨天時には下足室で靴の入れ方や傘のたたみ方を教 えてくれます。

上級生が下級生のお世話をしたり手本を示したり るよい伝統を、今後も積み重ねてほしいと思います。



中庭の根に木屋瀬の「かくれたチカラ」を見た



歓迎集会で全員が集ま ったので、木屋瀬小の中 庭にある不思議なモノ を紹介しました。

これは何でしょう?

タコの足のようにも見えるこの不思議なモノは、メ タセコイアの「木の根」です。「木の根」は普段は土の 中に隠れていて、見ることができませんが、木と同じ くらい大きさの根が地中深く生えていて、校舎よりも 大きな体を支えています。木屋瀬の木の根は、子ども たちのためにその一部を見せてくれています。

これが、学校目標の「かくれ たチカラ」です。子どもたちも、 木の根のように、未来の自分を しっかりと支えてくれる、「土 台」を学校の中でしっかりと身 に付けてほしいと思います。

「土台」とは、基礎となる 学力はもちろん、挨拶や掃除 きまりを守るチカラのこと



子どもたちの未来を信じて、少しの「できる」を、 あきらめず、粘り強く積み重ねていきたいと思います。

3年生と校区探検してきました



3年生と木屋瀬小の東側の町並みを探検してきまし た。学校の横の国道200号線にかかる歩道橋を超え て渡ると、広々とした水田が目に入ります。

水田の向こう側には、三井ハイテックの大きな工場や高速 道路が見えます。科学と自然の融合した街並みを見る と、これからの木屋瀬の未来の可能性を感じました。